

# 一般質問通告書

平成27年恵庭市議会第2回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成27年 6月 3日

恵庭市議会議員 柏野 大介

恵庭市議会議長 様

		ページ	3～1
		一問一答 (有)	質問所要時間 (50分)
大項目	1. 市長の政治姿勢について		
小項目	質問の要旨		
(1) 二元代表制の認識について	<p>憲法において、国は議員内閣制を採用するのに対して、地方自治では二元代表制を規定しています。</p> <p>議員内閣制が調和を求める制度であるならば、首長と議員それぞれが直接市民から選ばれる二元代表制は、一定の緊張関係を求める制度であるはずです。</p> <p>ところが4月に行われた市議会議員選挙において、市長は市議候補者の応援を行っています。政治家である市長が政治活動を行うことについては当然認められる部分もありますが、直接議会で対峙する恵庭市の議会議員を選ぶ選挙において、公務時間中に選挙活動を行うことには問題があると考えますが、市長のご所見を伺います。</p>		
(2) 市長の政治的中立性について	<p>市長選挙に無所属で立候補をし、市民の負託を受けた市長が、特定政党の候補者のみの選挙活動を行った理由を伺います。</p>		

※議会申合せ事項第14条(抜粋)

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。

	氏名 柏野 大介	ページ 3～2
大 項 目	2. こすもす保育園の駐車場について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
	<p>平成24年第2回定例会において、こすもす保育園の移転先を再開発ビル内とすることを決定した当初、再開発ビル事業者とも協議をして駐車場を確保するという方針を議会でも表明をしていました。</p> <p>その後、駐車場がなくなるという変更について、市から十分な説明はされないまま、今年（2015年）になって行われた移転に関する説明会では、「駐車場のない保育園」という位置付けである旨の説明がなされました。</p> <p>しかしながら、現在保育園を利用する保護者の多くは子どもの送迎に車を使用しており、現在策定中の総合計画でも、子育て支援の充実を掲げている恵庭市として、新設した保育園に駐車場を設けないということは、子育て世代の声を無視した独善的な判断だと思えます。当初の計画通り、駐車場を設ける必要があると思えますが、ご所見を伺います。</p>	
大 項 目	3. 松恵小学校の特認校制度について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
	<p>松恵小学校は平成10年から特別認定指定校として、保護者が希望をする場合には一定の条件を付して入学を認め、特色ある教育を進めていただいています。</p> <p>昨年3月の予算審査特別委員会総括質問では、明確な根拠はないとしながらも、取扱要領では小学校1年・2年生で導入されている少人数学級との比較から、18人を上限として運用をしてきているところです。</p> <p>それにもかかわらず、今年の新入学児童は23人となっています。過去に定員を超えた場合には抽選を行い、入学を希望しながら、叶わなかった方たちがいる一方で、こうした大幅な人数超過を認めることとなった問題の経緯と、責任の所在について、伺います。</p>	

	氏名 柏野 大介	ページ 3～3
大項目	4. ごみ料金の改定について	
小項目	質 疑 の 要 旨	
	<p>昨年9月に開催された公共料金等審議会ではごみ処理単価が上昇していることが示され、値上げの方向性が示されました。また、5月27日に開催された廃棄物減量等推進審議会でも、値上げが不可避であるかのような説明がされています。</p> <p>平成22年のごみ有料化の際に、目的としていたのはごみ減量であって、これ以上の値上げは市民にとって過度な負担となり、値上げは行うべきではないと考えますが、ご所見を伺います。</p>	
	5. 投票率の向上について	
小項目	質 疑 の 要 旨	
	<p>4月に統一自治体選挙が行われましたが、全国的に見ても投票率は回を重ねるごとに下がり続けています。要因は様々あることだと思いますが、恵庭市議会議員選挙においても、過去最低の投票率となりました。</p> <p>現在、国会では投票年齢の18歳への引き下げも検討されており、これに合わせて若い世代に対する関心を高める施策や、幅広い世代に対して、投票に対する利便性を高めていく施策などを総合的に行っていく必要があります。</p> <p>(1) 投票環境の向上  総務省の投票環境の向上方策等に関する研究会の中間報告が4月に発表され、その中でも、商業施設等への期日前投票所の設置などが提案されています。  費用もかかることではありますが、参議院選挙などに向け、試験的な実施を検討すべきと思うが、ご所見を伺います。</p> <p>(2) 選挙情報の提供  選挙への関心を高めるうえで、情報提供は欠かせません。多様な情報提供を進める上で、選挙公報のインターネット掲載をさっそく実施したことは、非常によい取り組みであったと思います。  しかしながら、選挙の選択で重要な情報である選挙公報の配布もれが発生しています。配布精度の向上や、配布もれを補完する方策など改善が必要です。  期日前投票所や選挙期日の投票所、市役所、駅など、固定で選挙公報を設置することにより、費用をかけずに補完する方策はとれると思いますが、ご所見を伺います。</p>	